

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年6月10日

計画の名称	1 神奈川県防災・安全に資する都市公園整備計画									
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	神奈川県							
計画の目標	大規模災害の発生時に延焼防止や避難地として防災上重要な役割を持つ防災空間を確保するため、既存の都市公園の拡充を推進するとともに、防災拠点となる都市公園の施設整備を進め、誰もが安全かつ安心して利用できるように整備することを目標とする。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立都市公園の県民一人あたりの面積を0.66m<sup>2</sup>/人(H22)から0.71m<sup>2</sup>/人(H26)に増加させる。</li> <li>地域防災計画に位置付けられた又は位置付けられる予定の11公園の整備を推進することで、避難地となるオープンスペースを確保しつつ、年間公園利用者数を600万人(H22)から660万人(H26)に10%増加させる</li> </ul>									
定量的指標の定義及び算定式	県立都市公園面積、及び全県人口（政令市含む）を計測する。 11公園の利用者を通年計測する。			定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H22当初) 0.66m <sup>2</sup> /人 (592.36ha) (902.8万人) 中間目標値 最終目標値 (H26末) 0.71m <sup>2</sup> /人 (643ha) (900万人) 600万人/年 660万人/年	備考					
全体事業費	合計 (A+B+C)	6,716.0 百万円	A	6,626.0 百万円	B	---	C	90 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.3%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体にて評価を実施	平成27年6月
	公表の方法
	神奈川県県土整備局都市公園課のWEBページ掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-2	公園	一般	神奈川県	直接				都市公園事業 (茅ヶ崎里山公園)	園路、広場、トイレ等 36.8ha	茅ヶ崎市						1,500	
1-A-5	公園	一般	神奈川県	直接				都市公園事業 (おだわら諏訪の原公園)	園路、広場等 17.2ha	小田原市						335	H22、23は旧地域自立・活性化
1-A-11	公園	一般	神奈川県	直接				都市公園事業 (東高根森林公園)	斜面安定工、園路等 11.9ha	川崎市		■	■	■	■	360	H23-24地域自主戦略交付金
1-A-12	公園	一般	神奈川県	直接				都市公園事業 (観音崎公園)	園路、広場等 50ha	横須賀市						835	
1-A-13	公園	一般	神奈川県	直接				都市公園事業 (保土ヶ谷公園)	プール、園路、広場等 9.6ha	横浜市						1,230	
1-A-14	公園	一般	神奈川県	直接				神奈川県都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	施設更新、パリアフリー化等 16箇所	神奈川県		■	■	■	■	2,336	H23:地域自主戦略交付金
1-A-33	公園	一般	神奈川県	直接				都市公園事業 (三ッ池公園)	遊具更新 29.6ha	横浜市						30	
小計 (公園事業)											6,626.0						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-13	公園	一般	神奈川県	直接		神奈川県	防災関連施設整備事業（恩賜箱根公園）	防災倉庫兼トイレ 1箇所	箱根町						90	
											合計	90				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
	おだわら諏訪の原公園(1-A-5)と合わせて、国の登録記念物指定となった恩賜箱根公園に防災倉庫兼トイレを整備することにより県西部地域の防災時対応の強化を図るとともに、施設のバリアフリー化によって安全性を確保することで、利用者の増加が見込まれる。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>茅ヶ崎里山公園、おだわら諏訪の原公園等の事業進捗に伴う供用区域の拡大により防災上重要な役割を持つ防災空間が確保された。</li> <li>観音崎公園、保土ヶ谷公園等の施設の更新やバリアフリー整備により利用者の安全性、利便性の向上に繋がった。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	0.71㎡/人	目標値と実績値 に差が出た要因	・公園の拡大整備が当初想定より進捗したことにより、目標である0.71㎡/人を上回る結果となった。
		最終実績値	0.74㎡/人		
	指標②	最終目標値	660万人/年	目標値と実績値 に差が出た要因	・公園の拡大整備や公園施設の更新等の事業は着実に進捗したが、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により公園利用者が減少した。その後、増加したものの最終目標値には届かない結果となった。
		最終実績値	606万人/年		
	指標③	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					

(参考様式3) (参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	1 神奈川県防災・安全に資する都市公園整備計画	交付対象	神奈川県
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

